

稲沢市コミュニティバス運行事業に関する アンケート調査結果報告書

令和4年1月

市長公室地域協働課

目次

1	調査概要	1
2	質問項目	1
3	アンケート集計結果	
	・ 回答者属性	2
	・ 日常の外出についてお聞かせください	6
	・ コミュニティバスやコミュニティバス接続便に利用についてお聞かせください	11
	・ コミュニティバスの運行に対する考え方についてお聞かせください	15
	・ 自由意見について	19

1 調査概要

(1) 調査の目的

市民の日常生活における公共交通の利用状況や公共交通に対するニーズを把握し、今後の「稲沢市コミュニティバス運行事業計画」見直しの基礎資料とするため、コミュニティバス運行事業に関するアンケート調査を実施した。

(2) 調査の対象

住民基本台帳から無作為に抽出した 18 歳以上の市民 2,500 人

(3) 調査の時期

令和 3 年 9 月 15 日（水）から 10 月 5 日（火）まで

(4) 調査方法

郵送によるアンケート

(5) 回収数

1,077 通 回収率 43.1%

2 質問項目

問 1 あなた自身について（属性）

問 2 日常の外出について

[問 2-1] 日常生活における外出について

[問 2-2] 路線情報アプリや Web サイトの利用について

[問 2-3] 路線情報の入手方法について

[問 2-4] 路線情報アプリや Web サイトを利用しない理由

[問 2-5] 路線情報アプリや Web サイトの利用方法についての講習会の参加について

問 3 コミュニティバスやコミュニティバス接続便に利用についてお聞かせください

[問 3-1] コミュニティバスやコミュニティバス接続便について知っていること

[問 3-2] コミュニティバスやコミュニティバス接続便の利用状況

[問 3-3] コミュニティバスやコミュニティバス接続便の利用頻度

[問 3-4] コミュニティバスやコミュニティバス接続便の利用目的

[問 3-5] 最寄りの停留所や接続便乗り場までの距離

[問 3-6] コミュニティバスに対して見直して欲しいこと

[問 3-7] コミュニティバスやコミュニティバス接続便を利用しない理由

問 4 コミュニティバスの運行に対する考え方についてお聞かせください

[問 3-1] 今後のコミュニティバスの利用頻度の変化について

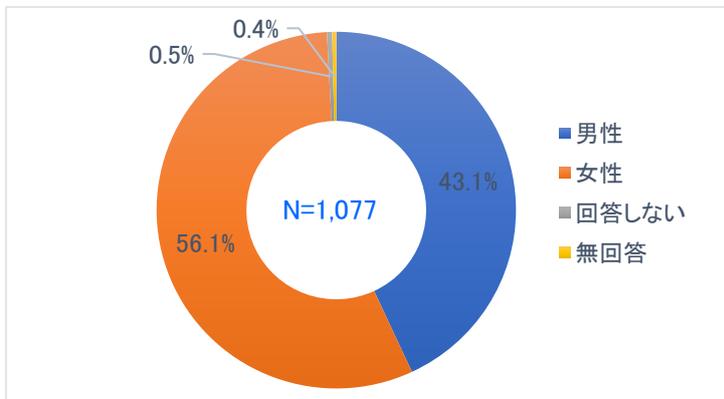
[問 3-2] 利用が少ない路線に対するあなたの考え方について

[問 3-3] 路線情報アプリの利用について

その他 コミュニティバスやコミュニティバス接続便に対する意見・要望等の自由記述

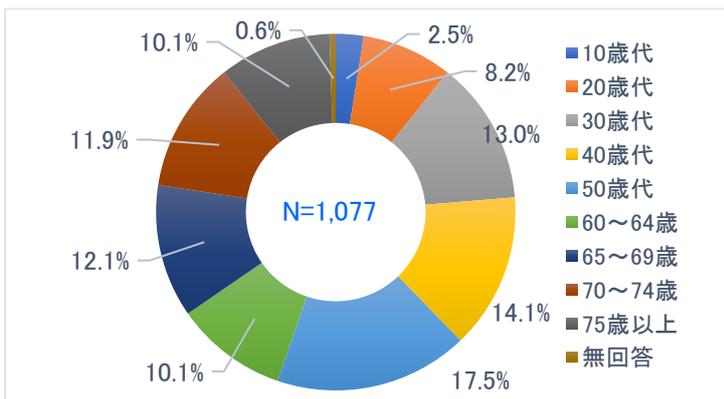
3 回答者の属性（問1）

【性別】



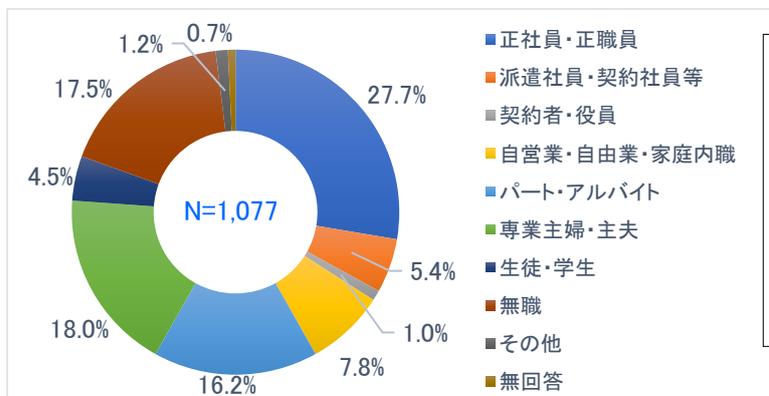
・回答者の性別は、「男性」が43.1%、「女性」が56.1%となっている。

【年齢】



・回答者の年齢層は「50歳代」が17.5%で最も多く、次いで「40歳代」が14.1%となっている。
・「60歳以上」が44.2%を占めている。

【職業】



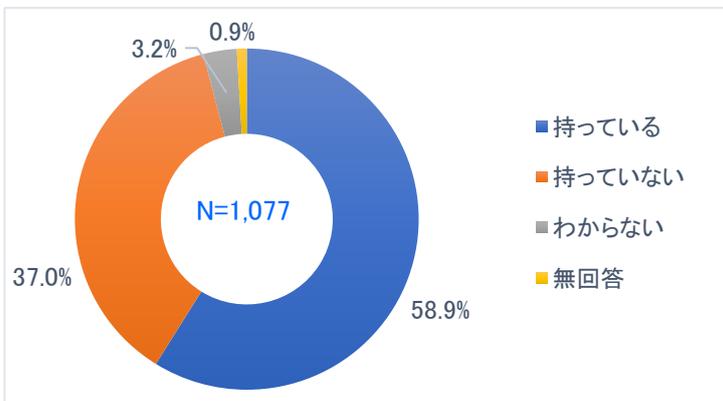
・回答者の職業は、「正社員・正職員」が27.7%で最も多く、次いで「専業主婦・主夫」が18.0%、「無職」が17.5%、「パート・アルバイト」が16.2%の順となっている。

【お住まいの地区】



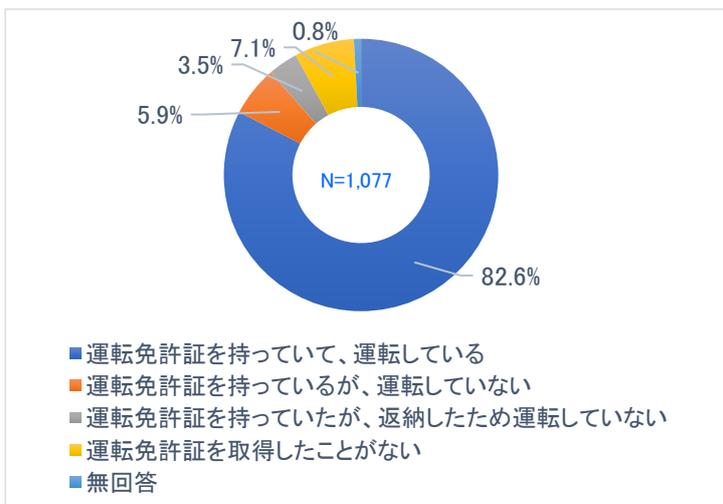
・回答者のお住まいの地区は、「下津市民センター地区」が 12.8%で最も多く、次いで「大里西市民センター地区」が 11.8%となっている。

【交通系 IC カードの所持について】



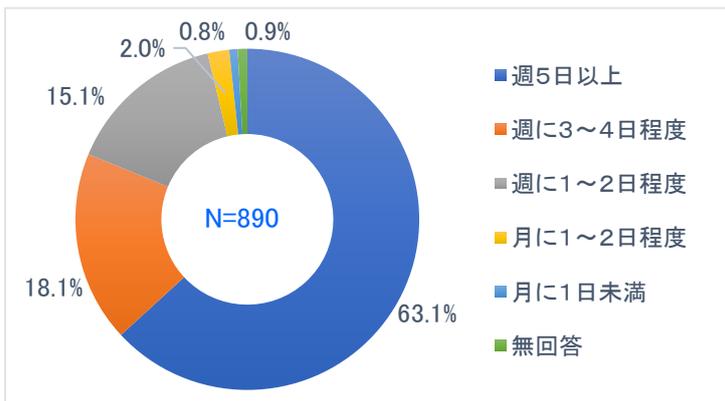
・回答者の交通系ICカードの所有については、「持っている」が 58.9%、「持っていない」が 37.0%となっている。

【運転免許証の有無と自家用車の運転について】



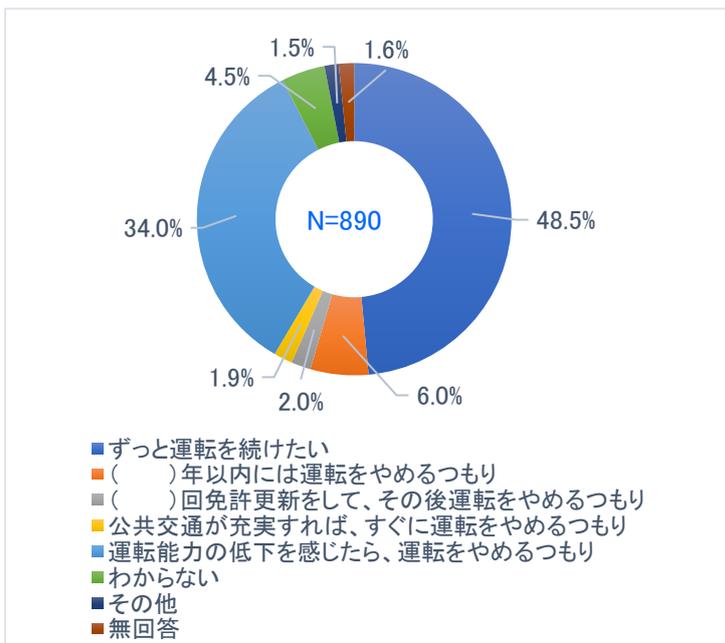
・回答者の運転免許証の有無と自家用車の運転について、「運転免許証を持っていて、運転している」が 82.6%と大半を占め、「保有したことがない」が 7.1%となっている。

【「運転免許証を持っていて、運転している」を選択した回答者の自家用車の利用頻度について】



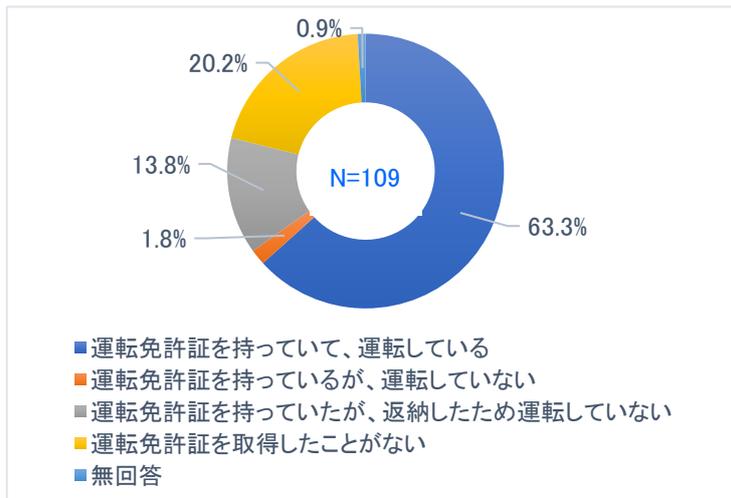
・回答者の自家用車の利用頻度について、「週5日以上」が63.1%で最も多く、次いで「週に3~4日程度」が18.1%となっている。

【「運転免許証を持っていて、運転している」を選択した回答者の今後の自動車の運転について】



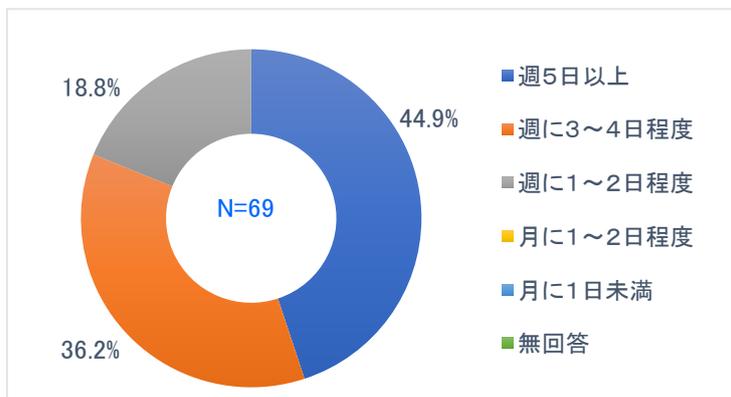
・回答者の今後の自動車の運転については、「ずっと運転を続けたい」が48.5%で最も多く、次いで「運転能力の低下を感じたら、運転をやめるつもり」が34.0%となっている。

【「年齢区分 75 歳以上」と「運転免許証の有無と自家用車の運転について」のクロス集計】



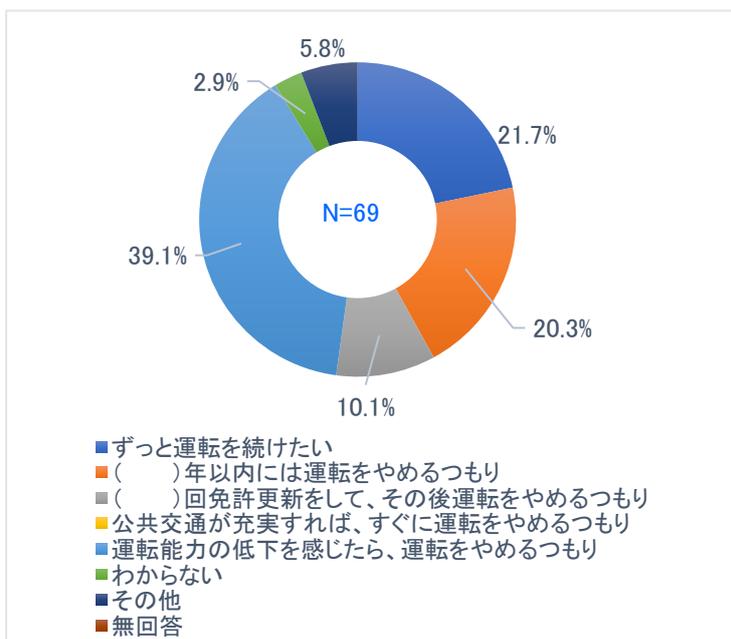
・「年齢区分 75 歳以上」の運転免許証の有無と自家用車の運転について、「運転免許証を持っていて、運転している」が 63.3%、次いで「保有したことがない」が 20.2%、「返納したため運転していない」が 13.8%となっている。

【「年齢区分 75 歳以上」で「運転免許証を持っていて、運転している」を選択した回答者と「自家用車の利用頻度について」のクロス集計】



・回答者の自家用車の利用頻度について、「週5日以上」が 44.9%で最も多く、次いで「週に3~4日程度」が 36.2%となっている。

【「年齢区分 75 歳以上」で「運転免許証を持っていて、運転している」を選択した回答者の「今後の自動車の運転について」のクロス集計】

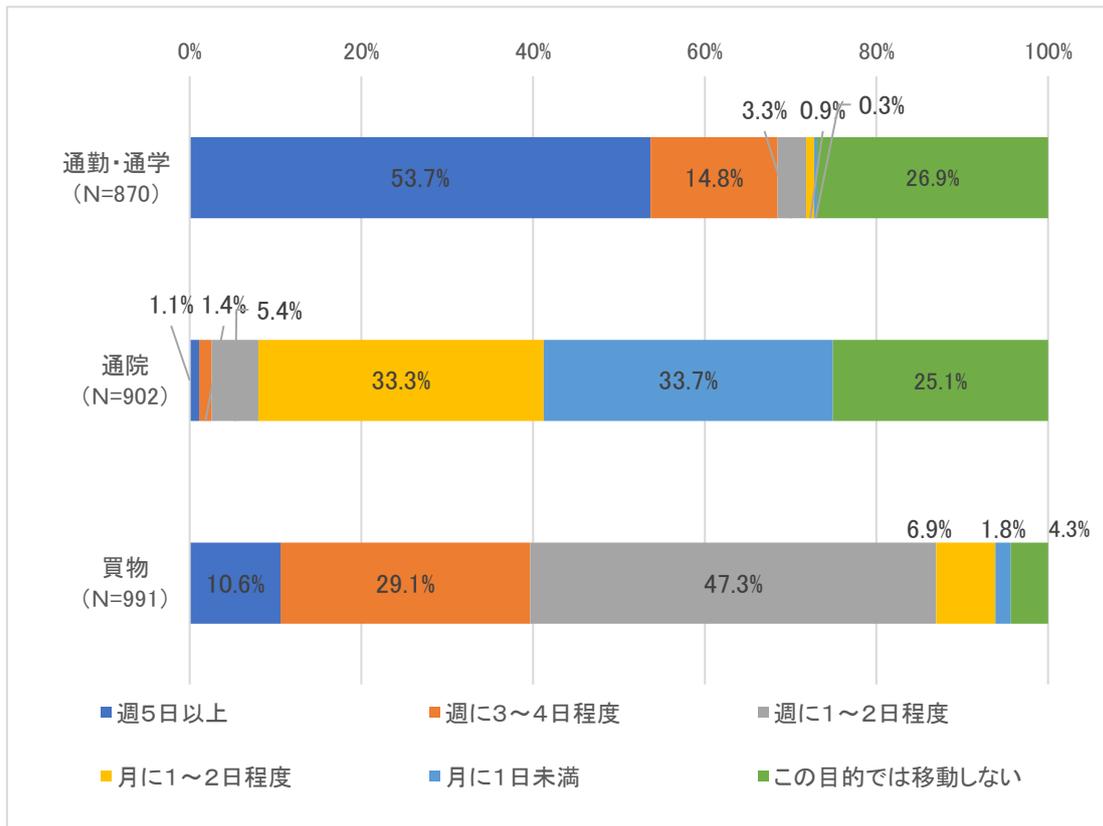


・回答者の今後の自動車の運転については、「運転能力の低下を感じたら、運転をやめるつもり」が 39.1%で最も多く、次いで「ずっと運転を続けたい」が 21.7%となっている。

4 集計結果（問2～問4）

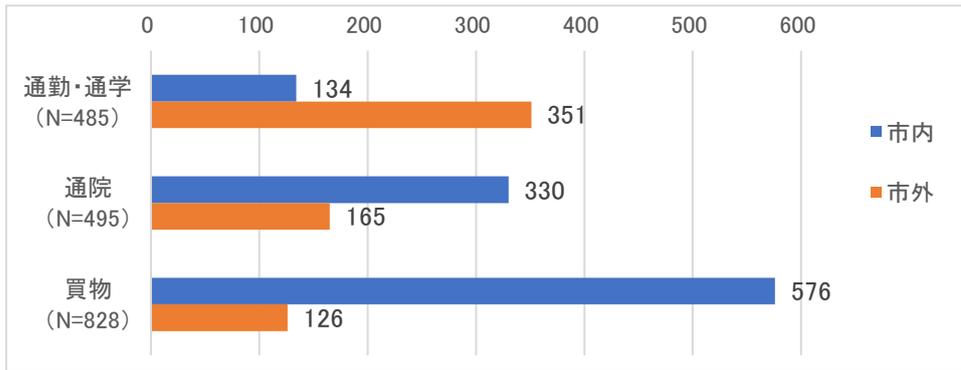
[問2-1] 日常生活におけるそれぞれの「外出の目的」について、あてはまるものを○印で囲む又は回答欄にご記入ください。なお、③及び④については、最も利用頻度の高い利用についての時刻をご記入ください。

【外出頻度】



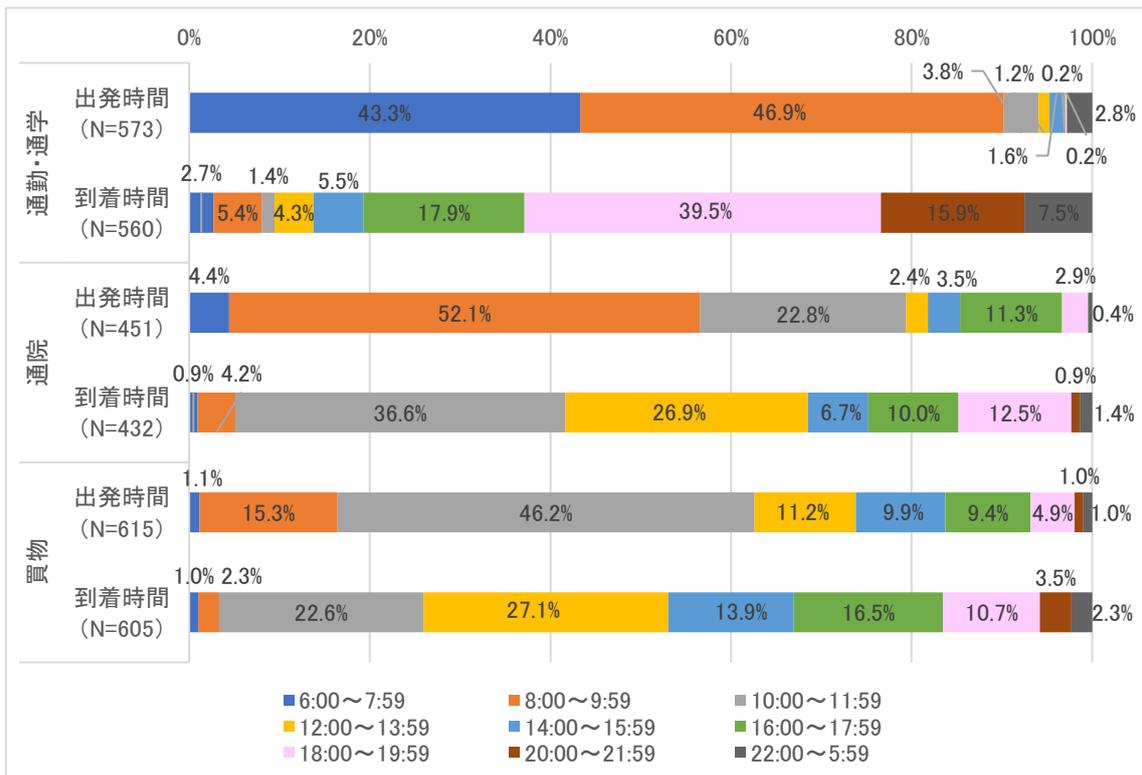
- ・移動の頻度は、通勤・通学では、「週5日以上」が 53.7%と最も多くなっている。
- ・通院は、「月に1日未満」が 33.7%と最も多く、次いで「月に1~2日程度」が 33.3%となっている。
- ・買物は、「週に1~2日程度」が 47.3%と最も多く、次いで「週に3~4日程度」が 29.1%となっている。

【行き先】



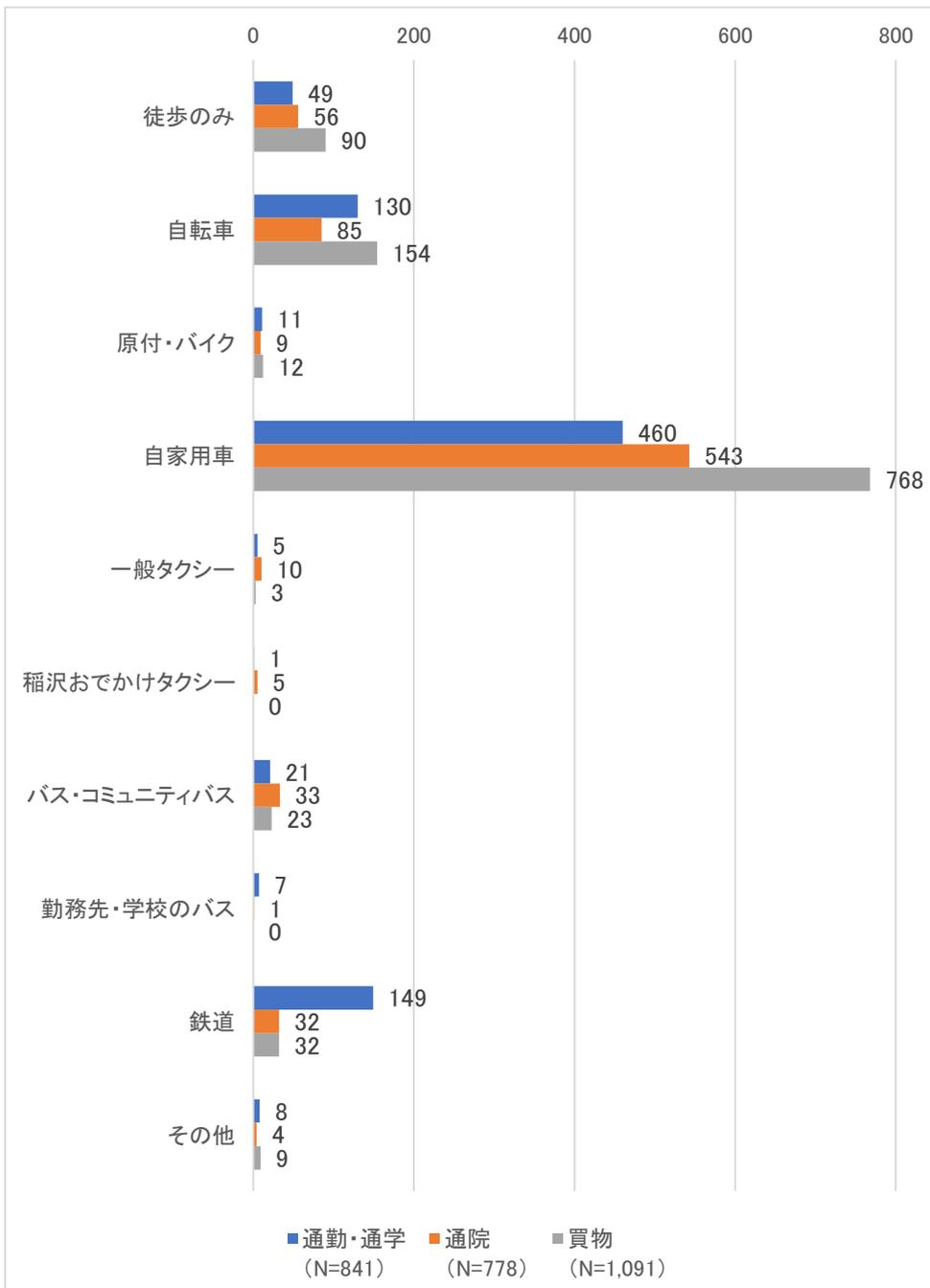
・行き先は、通勤・通学は「市外」が多く、通院、買物は「市内」が多くなっている。

【出発時間・帰宅時間】



・通勤・通学の自宅からの出発時間は、「8:00~9:59」の時間帯が46.9%と最も多く、自宅への到着時間は「18:00~19:59」の時間帯が39.5%と最も多くなっている。
 ・通院の自宅からの出発時間は、「8:00~9:59」の時間帯が52.1%と最も多く、自宅への到着時間は「10:00~11:59」の時間帯が36.6%と最も多くなっている。
 ・買物の自宅からの出発時間は、「10:00~11:59」の時間帯が46.2%と最も多く、自宅への到着時間は「12:00~13:59」の時間帯が27.1%とも最も多くなっている。

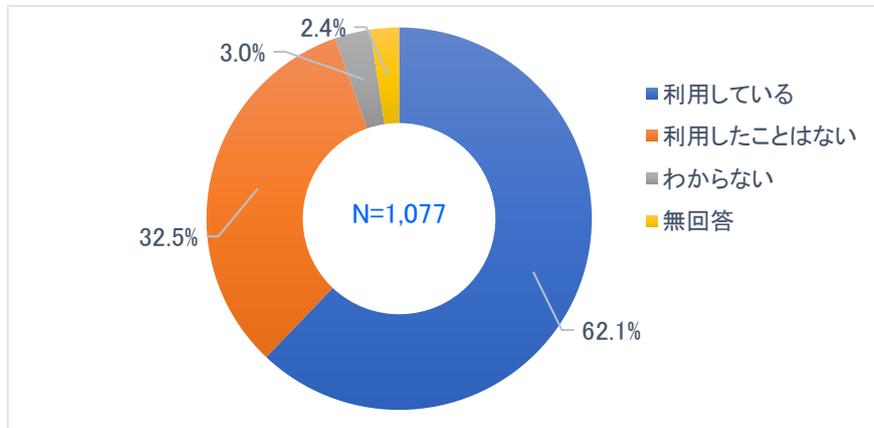
【移動手段】（複数回答）



- ・移動手段は、いずれの目的でも「自家用車」が多くなっている。
- ・通勤・通学については、他の目的に比べ「鉄道」が多くなっている。

[問 2 - 2] あなたは鉄道やバスなどの公共交通機関を利用する際、路線情報（経路や時刻表など）を調べるために路線情報アプリ（Yahoo!乗換案内、駅すぱあと、乗換 NAVITIME など）や Web サイトを利用していますか。

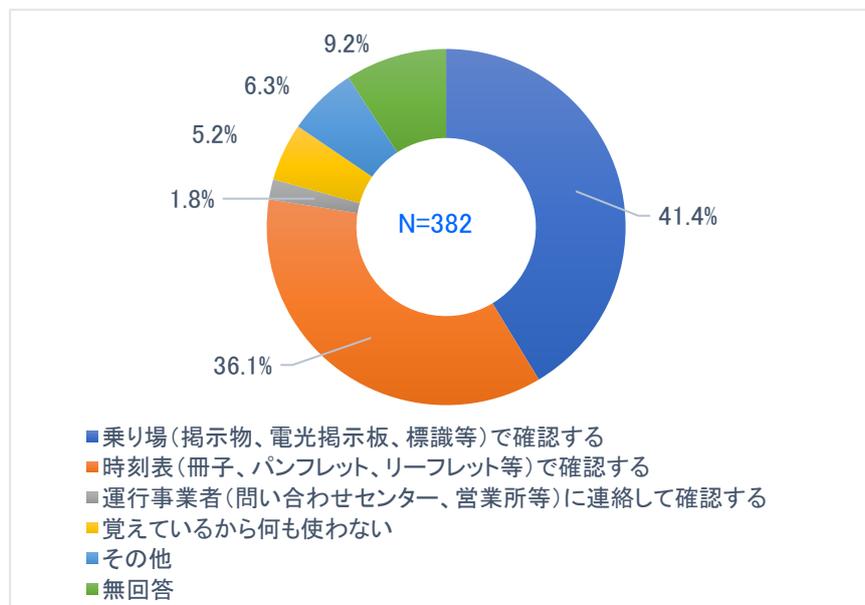
【路線情報アプリや Web サイトの利用】



・路線情報アプリやWebサイトの利用について、「利用している」が 62.1%、「利用したことはない」が 32.5%となっている。

[問 2 - 3] あなたは鉄道やバスなどの公共交通機関を利用する際、路線情報（経路や時刻表など）について主にどこから情報を得ますか。

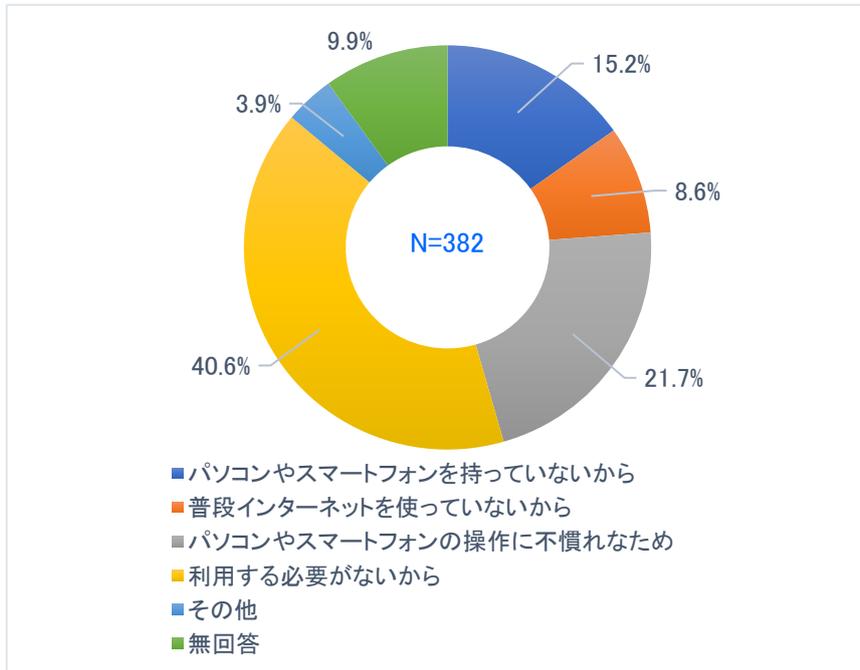
【路線情報アプリ等の利用を「利用していない」を選択した回答者の路線情報の確認】



・公共交通機関を利用する際の路線情報の確認について、「乗り場(掲示物、電光掲示板、標識等)で確認する」が 41.4%で最も多く、次いで「時刻表(冊子、パンフレット、リーフレット等)で確認する」が 36.1%となっている。

[問2-4] 路線情報アプリやWebサイトを利用しない主な理由は何ですか。

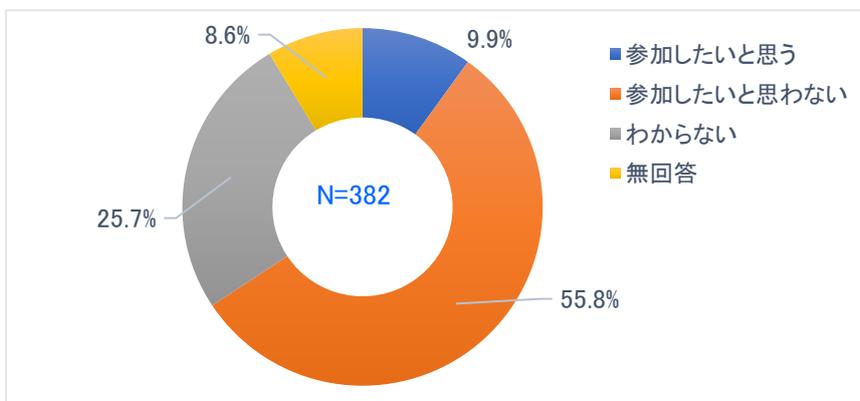
【路線情報アプリ等の利用を「利用していない」を選択した回答者の路線情報アプリ等を利用しない理由】



・路線情報アプリやWebサイトを利用しない理由について、「利用する必要があるから」が40.6%で最も多く、次いで「パソコンやスマートフォンの操作に不慣れなため」が21.7%となっている。

[問2-5] 路線情報アプリやWebサイトの利用方法についての講習会があれば参加したいと思いますか。

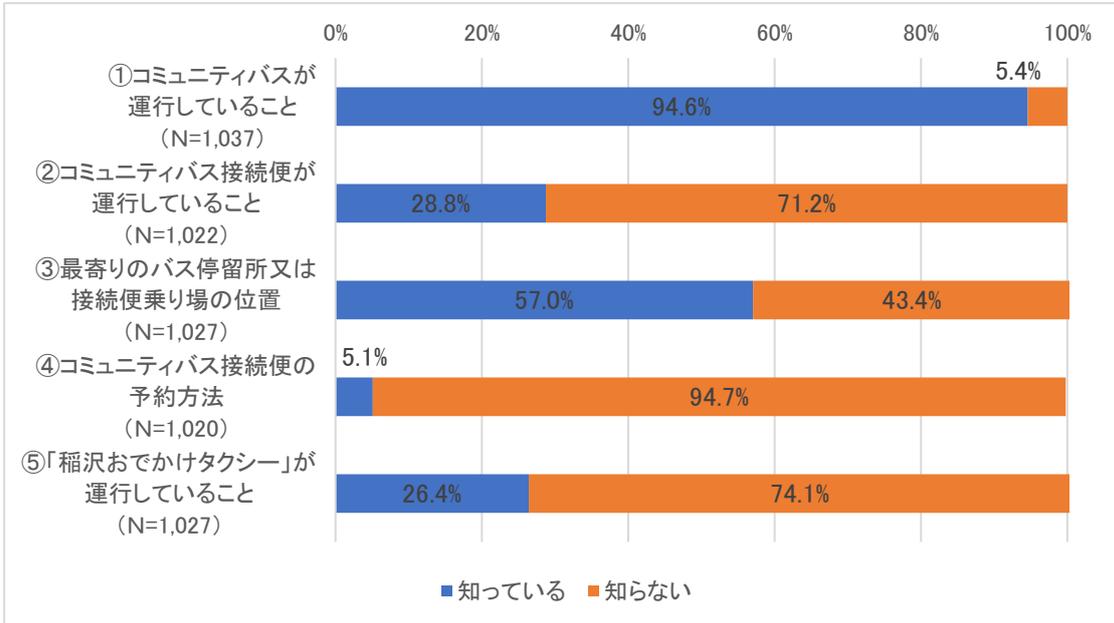
【路線情報アプリ等の利用を「利用していない」を選択した回答者の講習会の参加】



・路線情報アプリやWebサイトの利用方法についての講習会について、「参加したいと思わない」が55.8%で最も多く、次いで「わからない」が25.7%となっている。

[問3-1] コミュニティバスやコミュニティバス接続便の運行に関する次の①から⑤までの項目について、あなたが知っているものをお答えください。

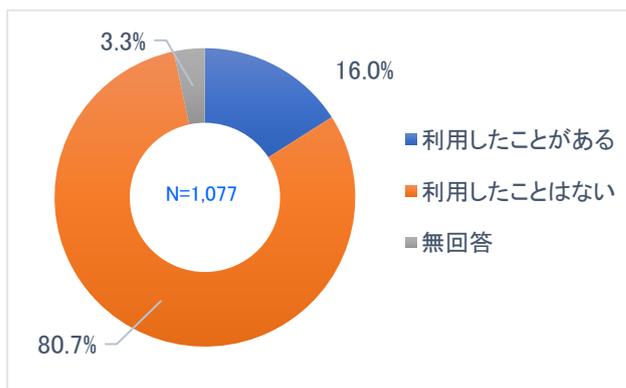
【コミュニティバスやコミュニティバス接続便の運行について知っていること】



- ・①コミュニティバスが運行していることについて、「知っている」が 94.6%となっており、多くの方にコミュニティバスの運行が認知されている。
- ・②コミュニティバス接続便が運行していること、④コミュニティバス接続便の予約方法について、「知らない」の割合が大きくなっている。
- ・③最寄りのバス停留所又は接続便乗り場の位置について、「知っている」が 57.0%となっており半数を超える方が認識されている。
- ・⑤令和3年度から本格運行を開始した「稲沢おでかけタクシー」の運行について、「知っている」が 26.4%となっている。

[問3-2] あなたは、コミュニティバスやコミュニティバス接続便を利用したことがありますか。

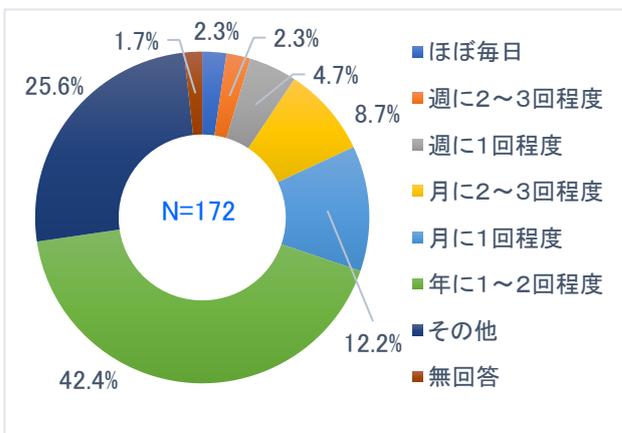
【コミュニティバスやコミュニティバス接続便の利用】



・コミュニティバスやコミュニティバス接続便について、「利用したことがある」が 16.0%、「利用したことはない」が 80.7%となっている。

[問3-3] コミュニティバスやコミュニティバス接続便をどの程度の頻度で利用していますか。(利用していましたか。)

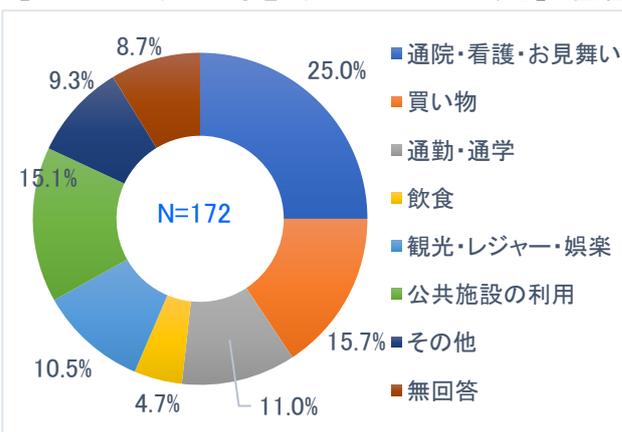
【コミュニティバス等を「利用したことがある」と回答した人の利用頻度】



・コミュニティバスやコミュニティバス接続便の利用頻度について、「年に1~2回程度」が 42.4%で最も多くなっており、次いで、「その他」が 25.6%となっている。

[問3-4] コミュニティバスやコミュニティバス接続便をどのような目的で利用していますか。(利用していましたか。)

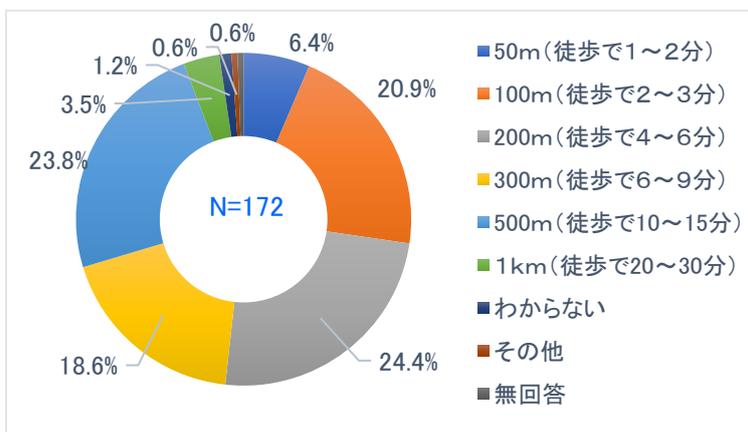
【コミュニティバス等を「利用したことがある」と回答した人の利用目的】



・コミュニティバスやコミュニティバス接続便の利用目的について、「通院・看護・お見舞い」が 25.0%で最も多く、次いで「買い物」が 15.7%、「公共施設の利用」が 15.1%、「通勤・通学」が 11.0%の順となっている。

[問3-5] あなたの御自宅から最寄りのバス停留所や接続便乗り場までのおよその距離をお答えください。

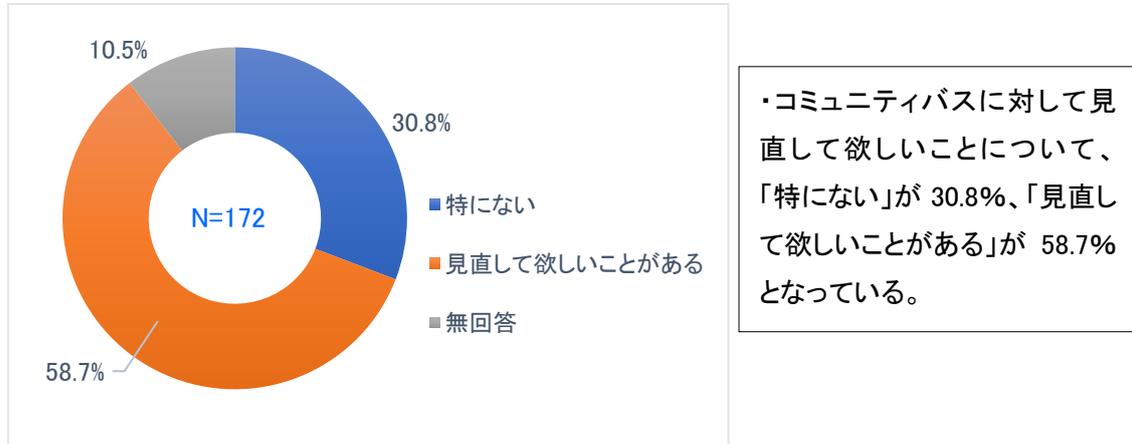
【コミュニティバス等を「利用したことがある」と回答した人の自宅から停留所等までの距離】



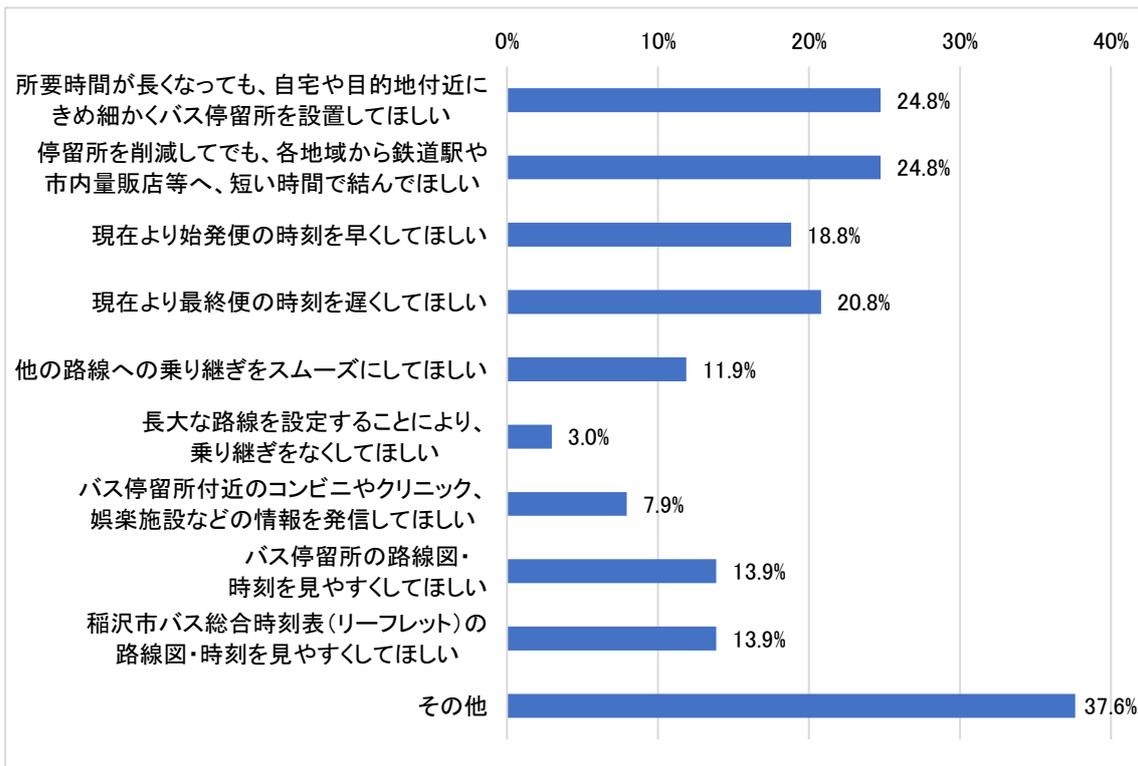
・自宅から最寄りのバス停留所や接続便乗り場までのおよその距離について、「200m(徒歩で4~6分)」が 24.4%で最も多く、次いで「500m(徒歩で10分から15分)」が 23.8%となっている。

【問3-6】 コミュニティバスに対して見直して欲しいことはありますか。

【コミュニティバス等を「利用したことがある」と回答した人のコミュニティバスに対して見直して欲しいこと】



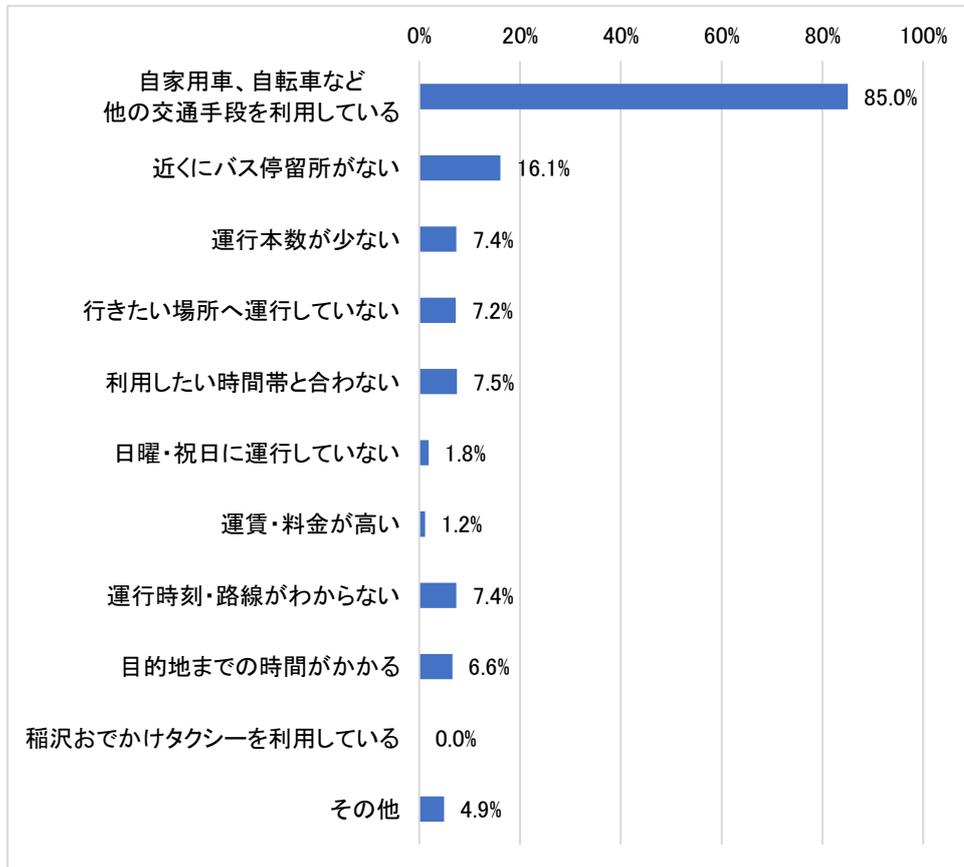
【「コミュニティバスに対して見直して欲しいことがある」と回答した人が見直して欲しい内容】（2つまで選択）（N=101）



・コミュニティバスに対して見直して欲しいことについて、「その他」を除くと、「所要時間が長くなっても、自宅や目的地付近にきめ細かくバス停留所を設置してほしい」と「停留所を削減してでも、各地域から鉄道駅や市内量販店等へ、短い時間で結んでほしい」が24.8%で最も多く、次いで、「現在より最終便の時刻を遅くしてほしい」が20.8%、「現在より始発便の時刻を早くしてほしい」が18.8%の順となっている。

[問3-7] あなたが、コミュニティバスやコミュニティバス接続便を利用しない理由は何ですか。(2つまで選択)

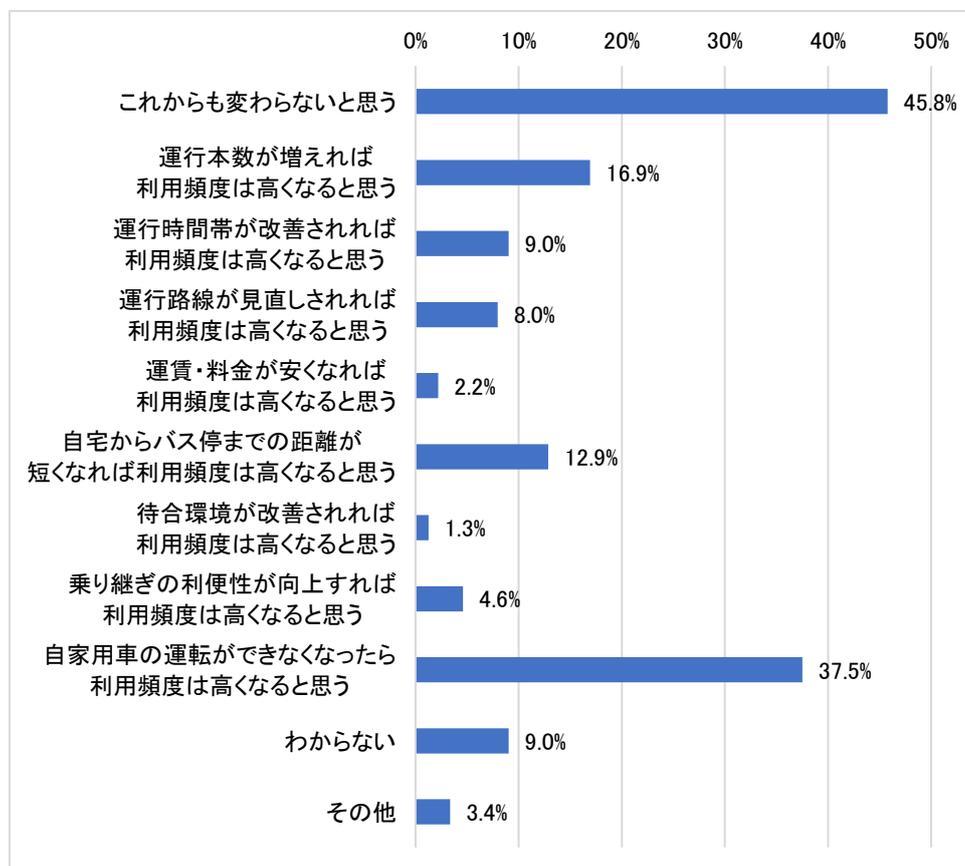
【コミュニティバス等を「利用したことがない」と回答した人のコミュニティバス等を利用しない理由】(N=869)



・コミュニティバスやコミュニティバス接続便を「利用していない」を選択した回答者の理由について、「自家用車、自転車など他の交通手段を利用している」が 85.0%で最も多く、次いで「近くにバス停留所がない」が 16.1%となっている。

[問4-1] あなたご自身のコミュニティバスの利用頻度は、今後、変化すると思いますか。(おおむね5年以内)(2つまで選択)

【今後のコミュニティバスの利用頻度の変化】(N=1,040)



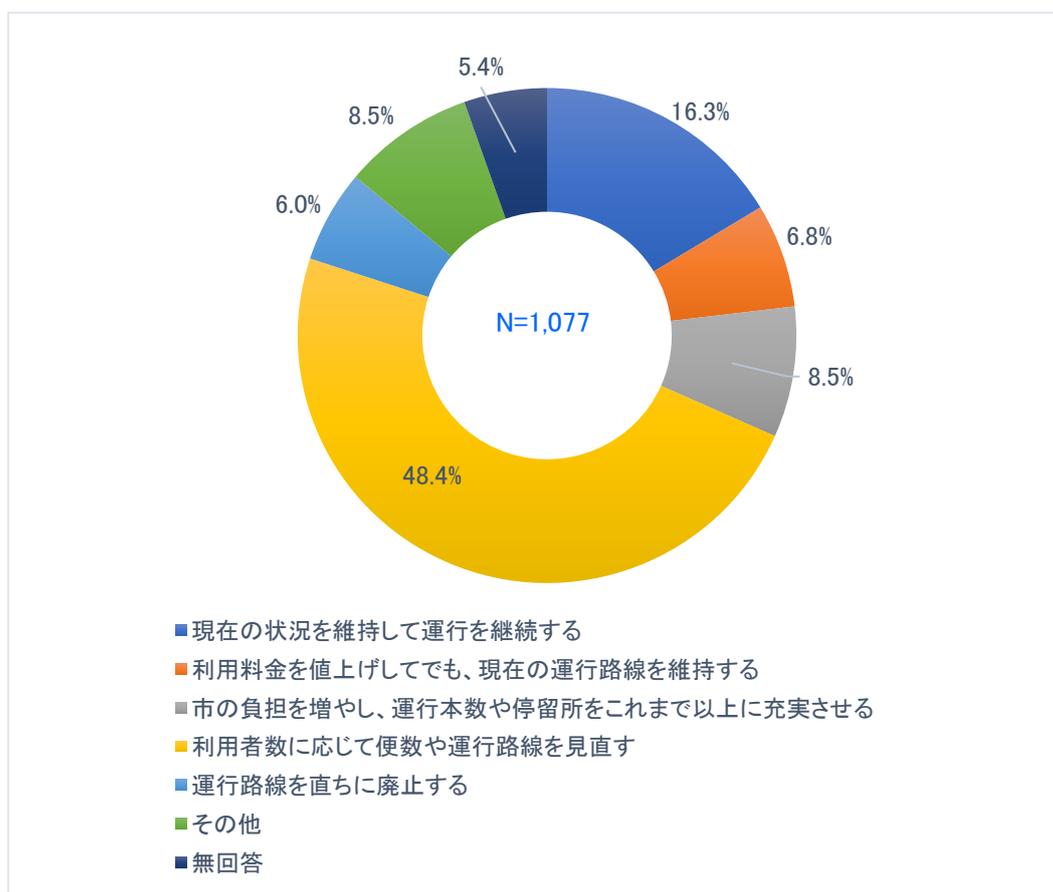
・今後のコミュニティバスの利用頻度の変化について、「これからも変わらないと思う」が 45.8%で最も多く、次いで「自家用車の運転ができなくなったら利用頻度は高くなると思う」が 37.5%、「運行本数が増えれば利用頻度は高くなると思う」が 16.9%の順になっている。

コミュニティバスの利用料金は1乗車1人 200円(小学生 100円、未就学児無料)と設定しておりますが、利用料金のみでは運行経費をまかなえないため、市が年間 83,637,106円(令和2年度決算額)を負担して運行しています。

これをコミュニティバスの利用者1人当たりの負担額にしますと、稲沢中央線(アピタ稲沢店系統)が 231円、祖父江・稲沢線(ふれあいの郷系統)が 1,041円、同線(地泉院系統)が 939円、下津・稲沢線が 1,663円、大里線が 2,438円、千代田・平和線が 1,502円となっており、各路線において市負担額に差が生じています。

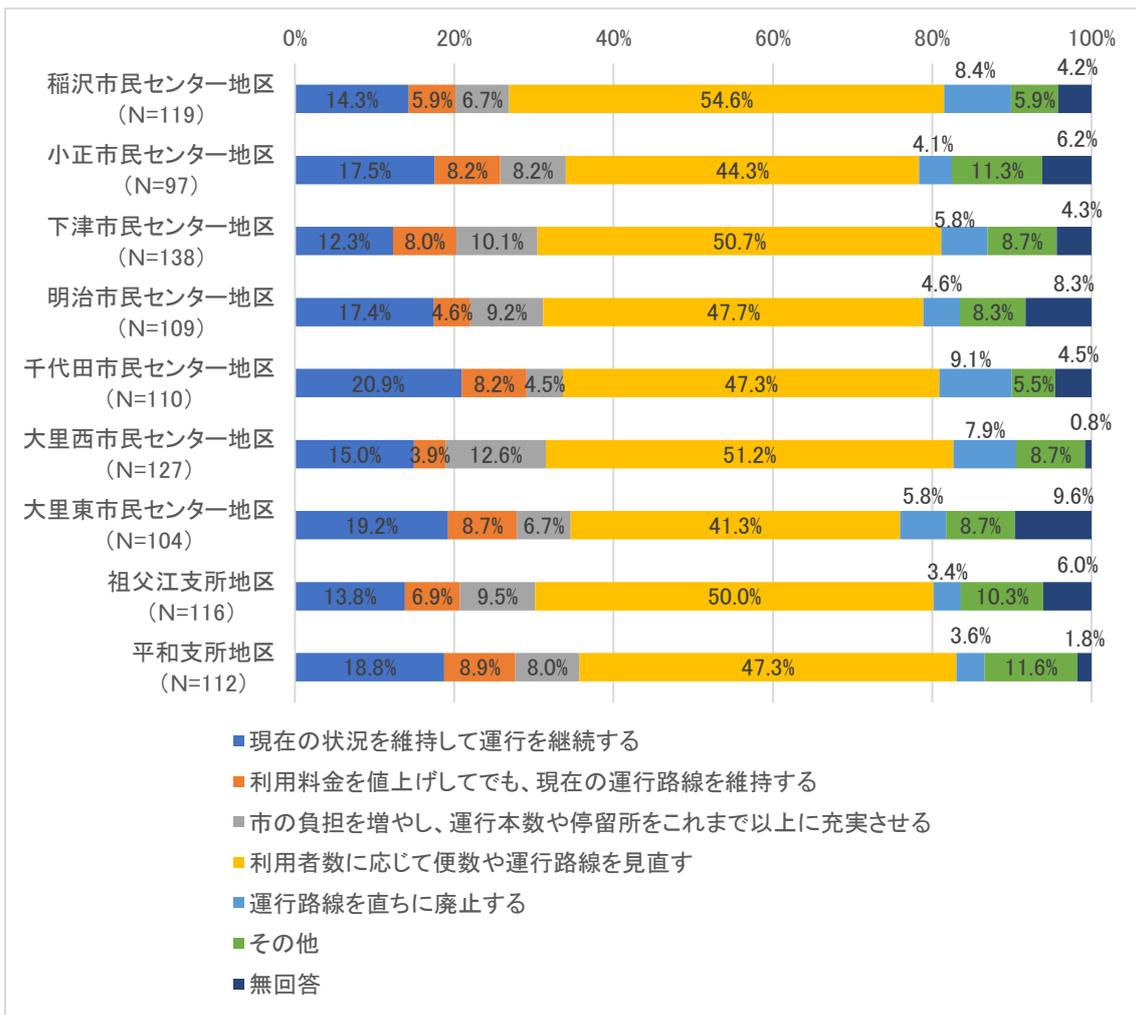
[問4-2] このように路線において市の負担額に大きな差がある中、**利用が少ない運行路線について、あなたの考え方に近いものを選んでください。**

【利用が少ない運行路線に対する考え方】



・利用が少ない運行路線に対する考え方について、「利用者数に応じて便数や運行路線を見直す」が 48.4%で最も多く、次いで「現在の状況を維持して運行を継続する」が 16.3%、「市の負担を増やし、運行本数や停留所をこれまで以上に充実させる」と「その他」がともに 8.5%となっている。

【問4-2】と「お住まいの地区」のクロス集計】

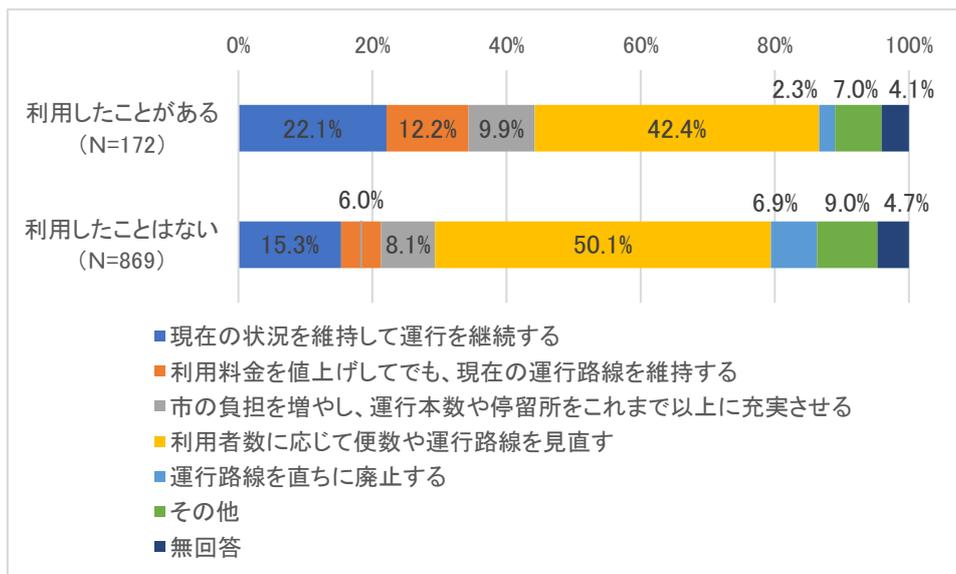


・全ての地区で「利用者数に応じて便数や運行路線を見直す」の割合が最も多く、「稲沢市民センター地区」が 54.6%で最も高く、次いで「大里西市民センター」が 51.2%、「下津市民センター地区」が 50.7%の順となっている。

・「現在の状況を維持して運行を継続する」の割合が最も高いのが「千代田市民センター地区」で 20.9%、次いで「大里東市民センター地区」が 19.2%、「平和支所地区」で 18.8%の順となっている。

・「市の負担を増やし、運行本数や停留所をこれまで以上に充実させる」の割合が最も高いのが「大里西市民センター地区」で 12.6%、次いで「下津市民センター地区」が 10.1%となっている。

【問4-2】と「バスの利用状況」のクロス集計】

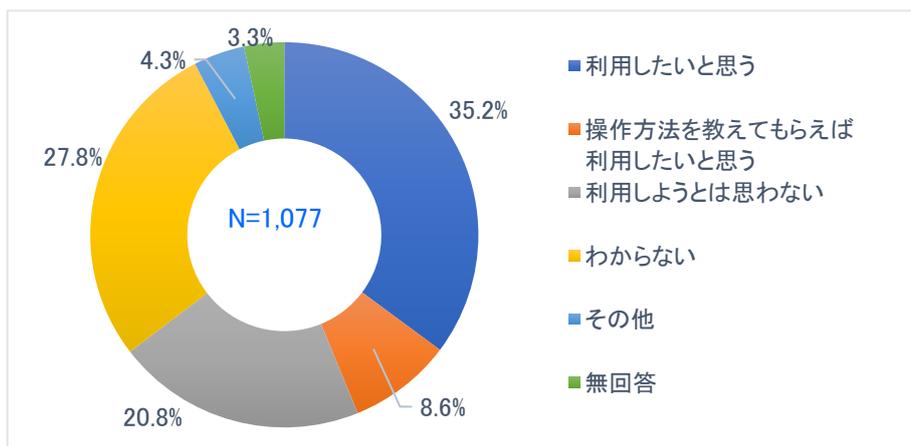


・いずれも「利用者数に応じて便数や運行路線を見直す」の割合が最も多く、「利用したことはない」が 50.1%、「利用したことがある」が 42.4%となっている。

・「現在の状況を維持して運行を継続する」の割合が「利用したことがある」で 22.1%、「利用したことはない」で 15.3%となっている。

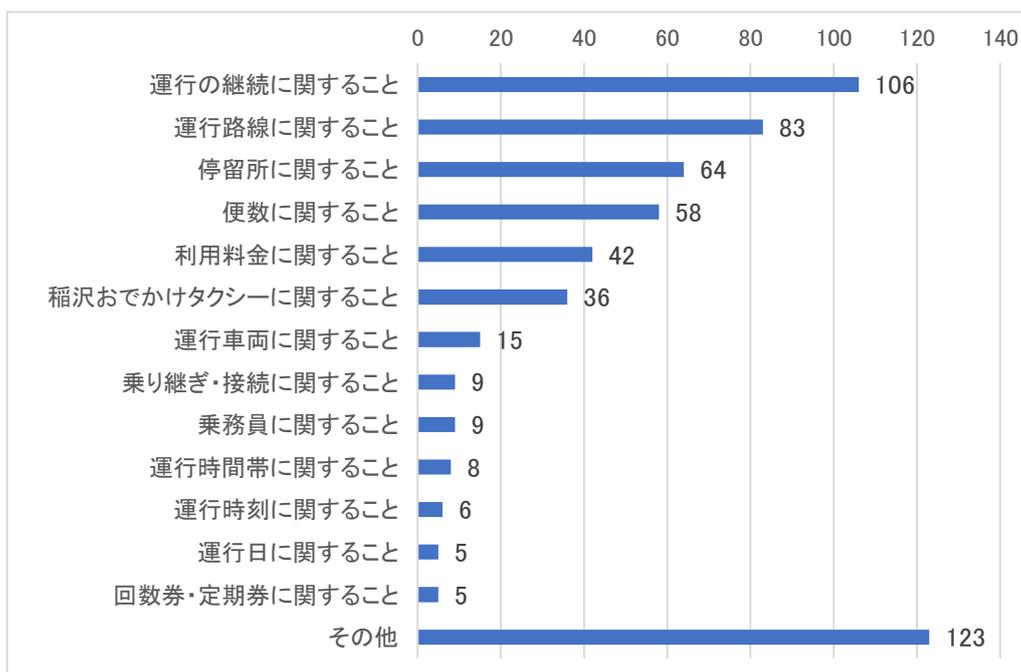
[問4-3] コミュニティバスの運行路線や時刻表が路線情報アプリで知ることができるようになったら、路線情報アプリを利用しますか。

【路線情報アプリの利用】



・路線情報アプリの利用について、「利用したいと思う」が 35.2%で最も多く、次いで「わからない」が 27.8%、「利用しようとは思わない」が 20.8%の順となっている。

自由意見について



・自由意見について、「その他」を除くと「運行の継続に関すること」が最も多く、次いで「運行路線に関すること」、「停留所に関すること」、「便数に関すること」の順になっている。